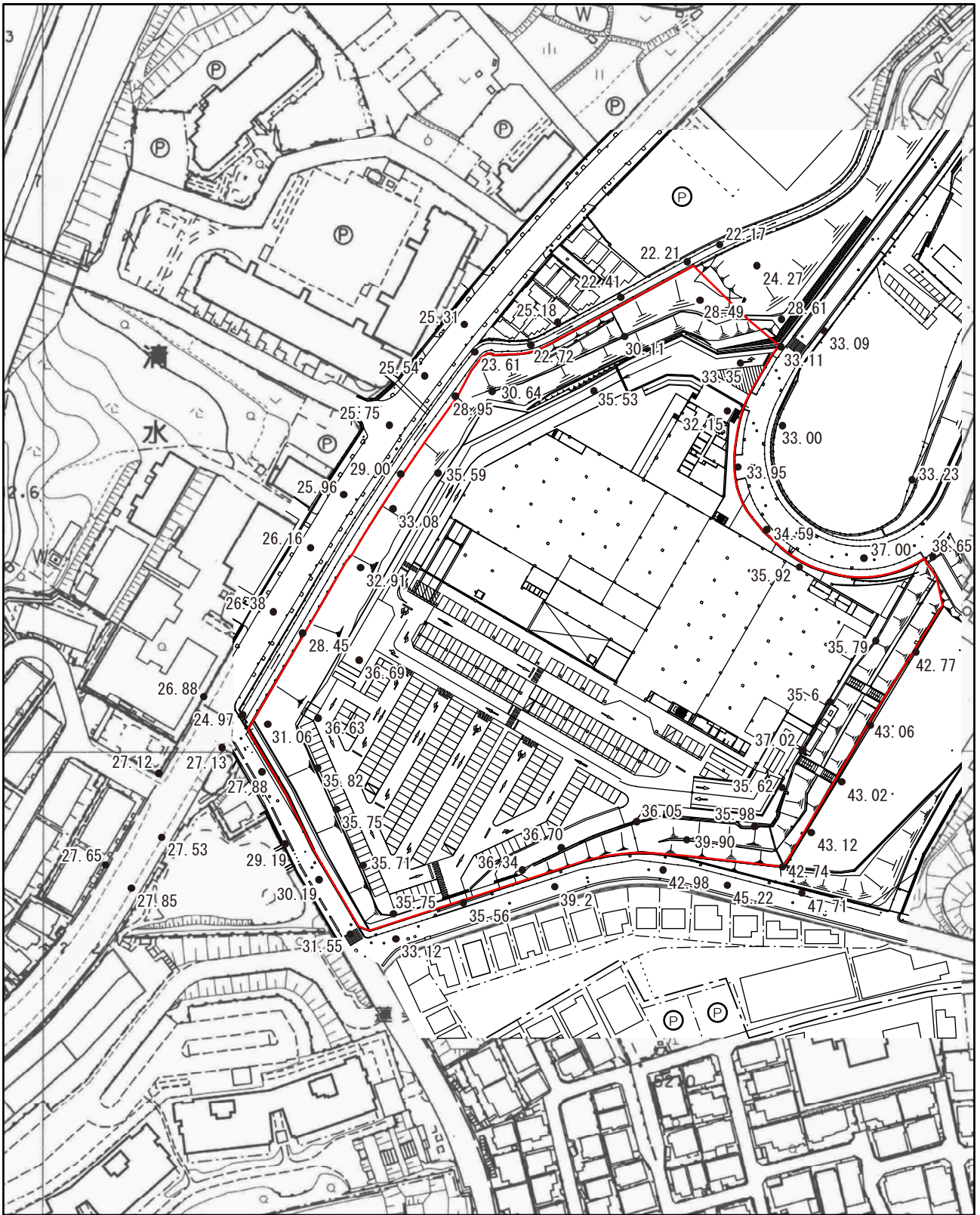



評価書案に対する質問書の内容及びこれに対する事業者の回答

	質問書の内容	事業者の回答
1	<p>①当該敷地、及び、周辺部は高低差があるため、影響が大きく、主たる個所に地盤レベルを表示した資料提示を願いたい。</p> <p>②建築基準法による日影図（法日影）ではなく、清水1番遊園の地盤レベルを測定高さとした実際の日影図（実日影）を提示願いたい。</p>	<p>①主要箇所における地盤レベルは、別図1に示すとおりです。</p> <p>②清水1番遊園の地盤レベル（推定）を測定面高さとした時刻別日影図は、別図2に示すとおりです。最も日影が伸びる冬至日の朝8～9時台に住居地に日影が及んでいますが、住居地と事業計画地の地盤高の高低差が10m程ありますので、事業計画地西側の斜面の法肩及び樹木（現存する斜面は残置）の日影と大部分は重複することとなります。</p>



凡例

 事業計画地



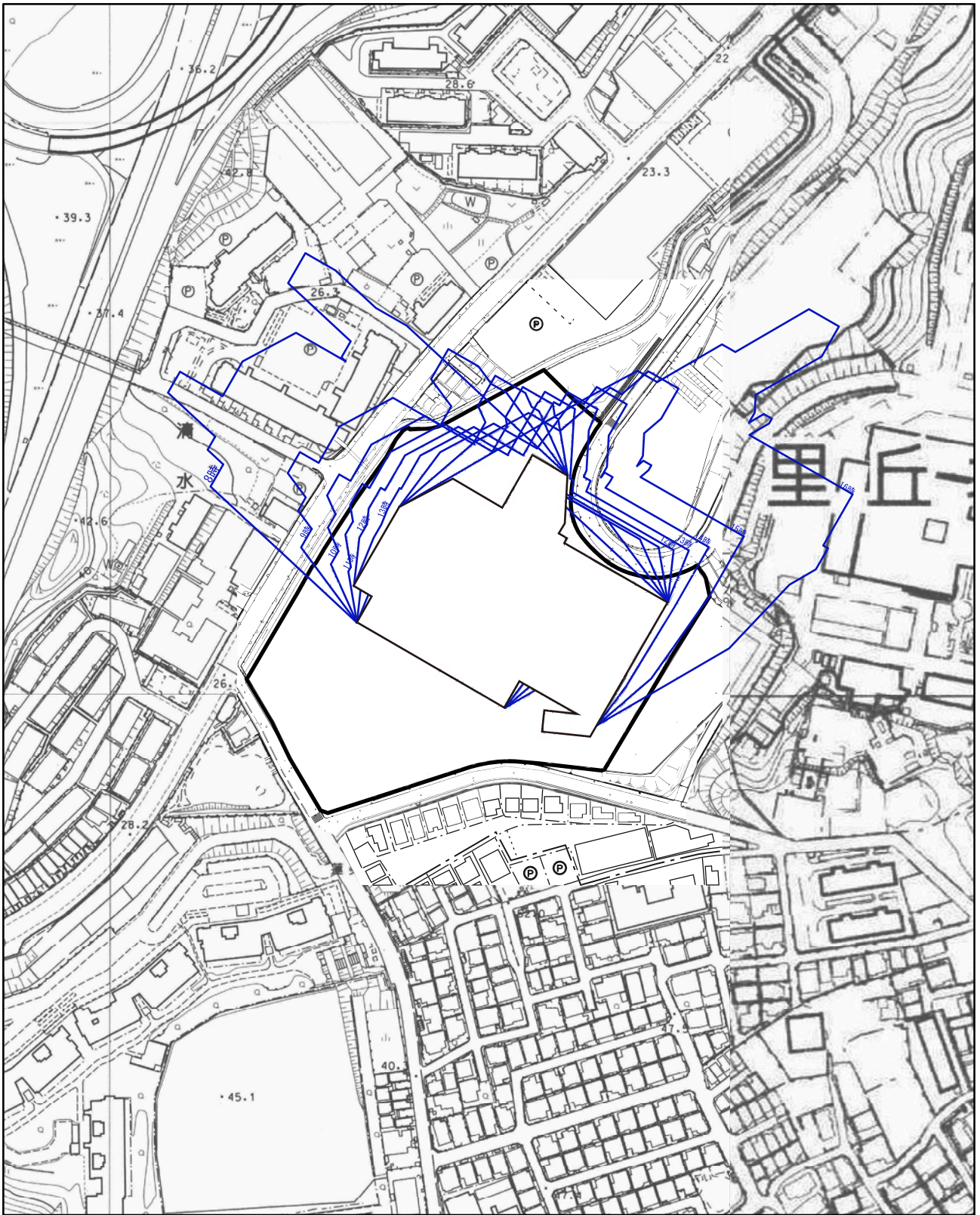
Scale 1:2,000

0 20 40 60 80 100m



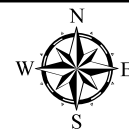
別図1





凡例

 事業計画地



Scale 1:3,000

0 50 100 150m



測定面高：清水1番遊園地盤レベル  
季節：冬至日

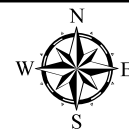
別図2(1) 時刻別日影図：冬至日





凡例

 事業計画地



Scale 1:3,000

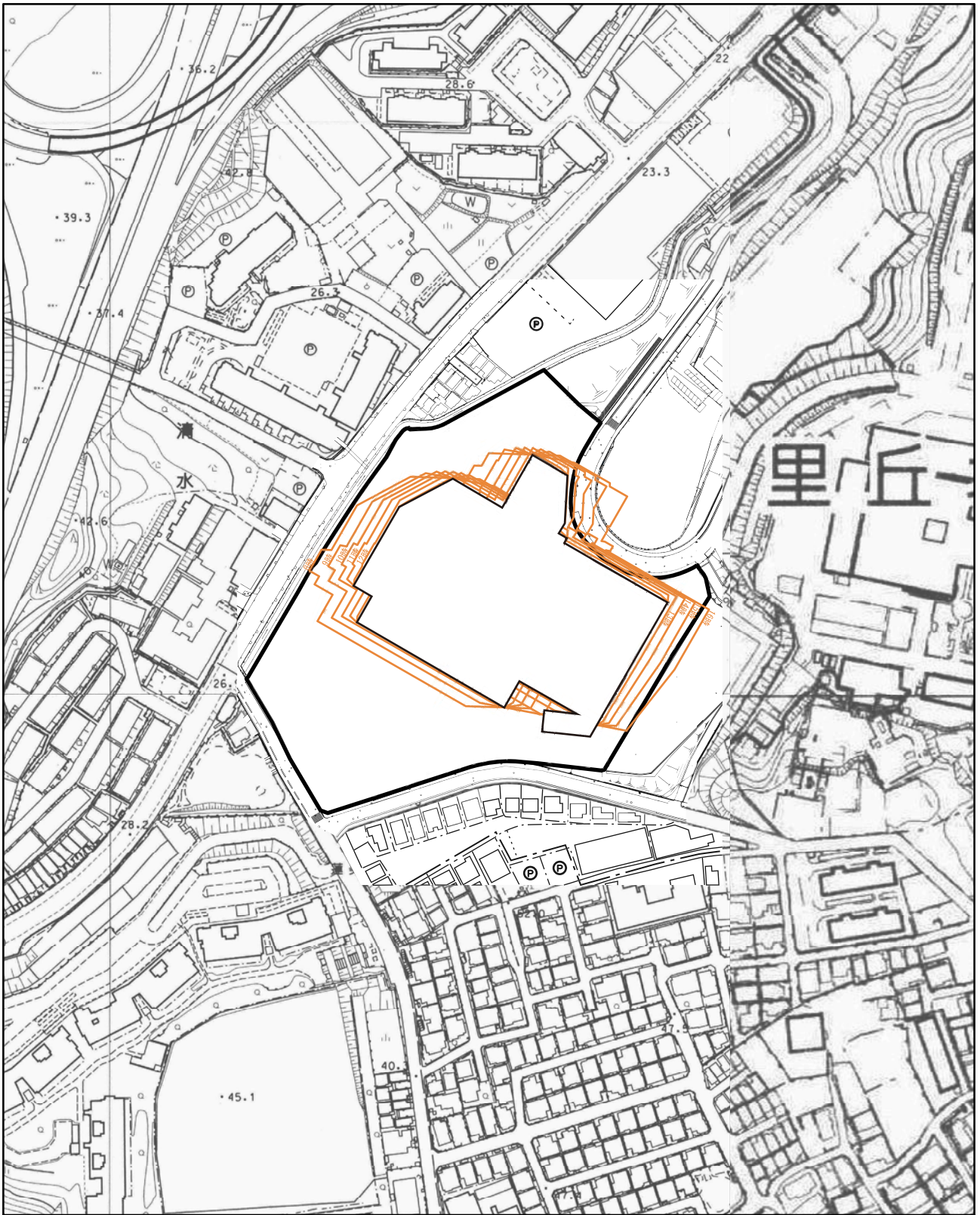
0 50 100 150m




別図2 (2) 時刻別日影図：  
春分秋分日

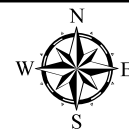
測定面高：清水1番遊園地盤レベル  
季節：春分秋分日





凡例

 事業計画地



Scale 1:3,000

0 50 100 150m



測定面高：清水1番遊園地盤レベル  
季節：夏至日

別図2(3) 時刻別日影図：夏至日